



東洋医学公益講座

第14回

- ✓ 講師：羅 予澤
- ✓ 提供：未病予防協会
- ✓ 協賛：(株)ベンチャーバンク

先人の智慧、後世の階段

経絡の分類 I

経絡＝「隙間」のネットワーク

✓ 気・血・水の通り道

✓ 体内の空間のネットワーク

経絡を通るもの

目にみえないもの

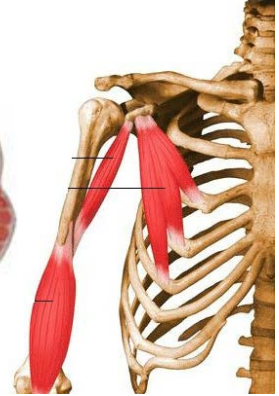
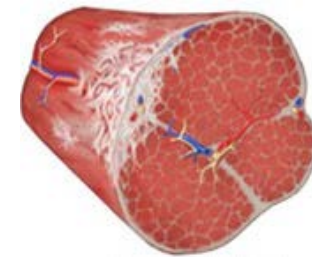
熱、光、電磁波、電気、空気、酸素、
二酸化炭素、水蒸気、オナラ、ゲップ

目にみえるもの

栄養素、血液、水、廃棄物
神経物質、ホルモン . . .

「経絡」はどこ？

- ✓骨と骨の間
- ✓骨と筋肉の隙間
- ✓筋肉と筋肉の隙間
- ✓筋繊維と筋繊維の隙間
- ✓皮膚と筋肉の隙間
- ✓皮膚の表面



体表の空間にも経絡はある

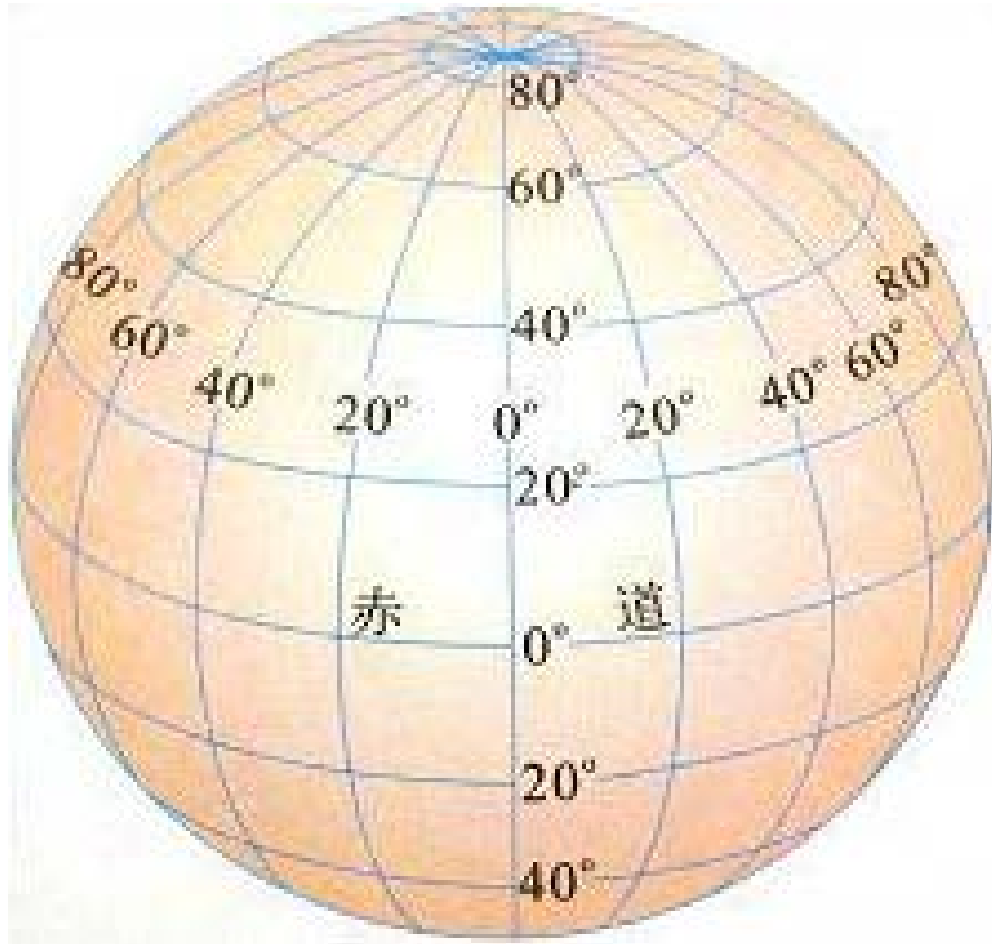
空間の広さが変わると

- ✓ 空間が狭くなる
- ✓ 空間が捻じれる
- ✓ 空間が詰まる
- ✓ 空間が変形する

と

⇒ 気血水の通りが悪く、
様々な機能が正常に働かなくなる
健康状態が大きく左右される

地球の経線と緯線



経絡＝経脈＋絡脈

● 経脈 ＝ 縦の隙間

人体（足、腕、手、背）の大きな
骨と骨・骨と筋肉の隙間にある

● 絡脈 ＝ 横の隙間

縦の隙間同志をつなぐもの。
横の繋がりを強化する
浅い部分と奥深い部分を連絡する。



経脈の分類（十二正経）

● 十二正経

五臓六腑の機能を担うために、体の縦の隙間にある専用の12本の気血水の通り道

- ✓ 五臓（肝・心・脾・肺・腎）と心包
- ✓ 六腑（胃・小腸・大腸・胆・膀胱・三焦）

左右12本ずつ、全部で24本

体における十二正経の位置分布

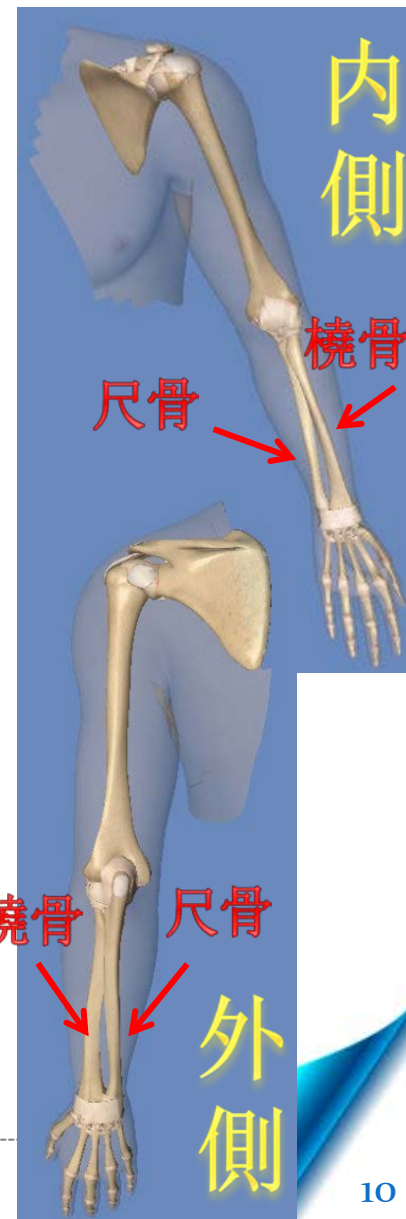
前腕の場合

- ✓ 橈骨・尺骨の骨と骨の間
- ✓ 橈骨とその周りの筋肉の間
- ✓ 尺骨とその周りの筋肉の間

手の平側（腕の内側）

手の甲側（腕の外側）

内外3本づつ（計6本）の隙間



腕における経絡の分布

手太陰肺経

手厥陰心包経

手少陰心経

手少陽三焦経

手陽明大腸経

手太陽小腸経

腕の内側の経絡分布

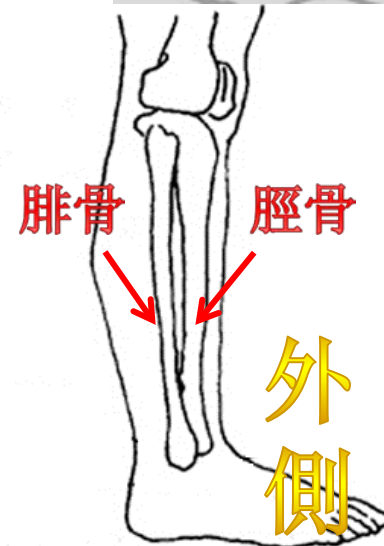
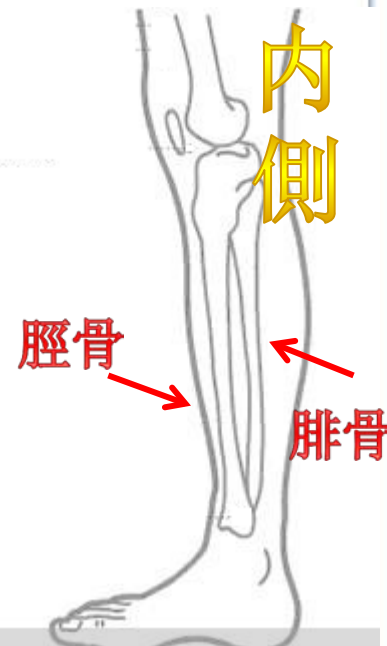
腕の外側の経絡分布

体における十二正経の位置分布

脛の場合

- ✓ 脛骨・腓骨の骨と骨の間
- ✓ 脛骨とその周りの筋肉の間
- ✓ 腓骨とその周りの筋肉の間

内側と外側に各3本ずつ
(計6本)の隙間



足における経絡の分布

足の内側の経絡分布

足の外側の経絡分布

足厥陰肝経

足少陽
胆経

足陽明
胃経

足少陰腎経

足太陰脾経

足太陽膀胱経

経脈の陰陽分類

陰 経



四本足の姿勢になった時に
日の当たらない内側の部分＝「陰」

五臓（肝・心・脾・肺・腎）と心包の機能を
担う経脈は全て手足の内側「陰」にある

経脈の陰陽分類

陽 経

四本足の姿勢になった時に
日の当たる外側の部分＝「陽」



六腑(胃・小腸・大腸・胆・膀胱・三焦)の機能を
担う経脈は全て手足の外側「陽」にある

経脈の分類(奇経八脈)

任脈、督脈、衝脈、帶脈

陰蹻脈、陽蹻脈、陰維脈、陽維脈

奇経八脈の役割

十二正経の機能を
「監督」「調節」「補佐」

経絡の分類

経絡 = 経脈 + 絡脈

経脈 = 十二正経 + 奇経八脈

十二正経

陰経—臓の機能を担う

陽経—腑の機能を担う

奇経八脈

任脈、督脈、衝脈、帶脈

陰蹻脈、陽蹻脈、陰維脈、陽維脈

手太陰肺経

手厥陰心包経

手少陰心経

足太陰脾経

足厥陰肝経

足少陰腎経

手陽明大腸経

手少陽三焦経

手太陽小腸経

足陽明胃経

足少陽胆経

足太陽膀胱経

東洋医学の生理学と自然の数

- ✓ 1年 = 12か月
- ✓ 1日 = 12時間 (昔12時間、今24時間)
- ✓ 1年 = 24節気
- ✓ 十二正経の数 = 24本, 左右12本
- ✓ 肋骨の本数 = 24本
- ✓ 手足の長い骨数 = 12本

人体と自然は密接につながっている